



JLTK-HDN1280

こたつの「品名」および「形名」は天板を外し、こたつ本体上面の貼付けラベルをご参照ください。

ヒーターユニット型番
MHU-601E (D)

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意(1~5ページ)」を必ずお読みください。
- 保証書は裏表紙についています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。
- この商品は日本国内専用で、海外ではご使用いただけません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 取扱説明書のイラストと実際の製品の形状が異なる場合があります。

もくじ

ご 使 用 前 に	安全上のご注意・・・・・・・・・・1~5
	危険・警告・注意
	各部のなまえ・・・・・・・・・・6
使 い 方	ご使用の準備・・・・・・・・・・7~9
	ご使用の順序・・・・・・・・・・10
	こたつの使い方・・・・・・・・・・11
	テーブルとしての使い方・・・・11
知っておいていただきたいこと・12	
必 要 な と き に	お手入れと保管の方法・・・・13
	故障かな?と思ったら・・・・13
	仕様・・・・・・・・・・14
	保証とアフターサービス・・・・14
	保証書・・・・・・・・・・裏表紙

お手入れと保管の方法

■お手入れ前に

- ・電子コントローラーを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・本体を十分冷ましてから（約 30 分）お手入れをしてください。

■ヒーターカバーのお手入れ

- ・ヒーターカバーについてごみやほこりは掃除機で吸い取ってください。
- ・自転車の空気入れなどでごみやほこりを吹き飛ばすより効果的です。
- ・ごみやほこりが大量に付いたまま使用すると、発煙や異臭の原因となります。

■テーブルのお手入れ

- ・台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した布で拭き取ってください。その後、洗剤や水分が残らないように、しっかり乾拭きしてください。
- ・ワックスやクリーナーを使用するときには、説明書をよく読み、ご理解の上で使用ください。

■保管

- ・保管の前にヒーターカバーのお手入れをしてください。
- ・ごみやほこりが被らないようにこたつを覆い、湿気の少ない場所に保管してください。
- ・脚や付属品を紛失しないようお気をつけください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、症状をお確かめください。

症状	確認	処置
運転しない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ご家庭のブレーカーが「切」になっていませんか？	ブレーカーを「入」にしてください。
	電子コントローラーが「切」になっていませんか？	電子コントローラーを「弱」以上にしてください。
ヒーターが点灯しない	温度制御が働いていませんか？	こたつ内の温度によって暗く感じる場合があります。故障ではありません。
異音がる	常に聞こえる音ではありませんか？	ファンやモーターの動作音です。故障ではありません。
「ジー」という音がる	電源プラグまたはヒーターユニットから聞こえる音ではありませんか？	温度制御により発生する音です。故障ではありません。
においがする	はじめてのご使用ですか？	塗料や接着剤のにおいです。ご使用に伴い出なくなります。
	ヒーターカバーやヒーターの周辺にほこりが付いていませんか？	掃除機などでほこりを取り除いてください。
煙がでる	はじめてのご使用ですか？	生産時に残ってしまった油によるものです。ご使用に伴い出なくなります。
	ヒーターカバーやヒーターの周辺にほこりが付いていませんか？	掃除機などでほこりを取り除いてください。

これらの処置をしても直らない場合、この表以外の症状はお買い上げの販売店にご相談ください。

ご相談の際にはお手数ですが「品名」および「形名」をお調べの上、販売店までご相談ください。
「品名」および「形名」は、天板を外し、こたつ本体上面の貼り付けラベルをご参照ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

警告


<p>電源プラグと器具用プラグは根元まで差し込む。</p> <div style="text-align: center;"> <p>強制</p> </div> <p>差込みが不完全ですと、ほこりや湿気などが付着し火災や感電の原因になります。変形変色したプラグや緩んだコンセントは使用しないでください。</p>	<p>交流 100V の電源、定格 15A 以上のコンセントを使う。</p> <div style="text-align: center;"> <p>強制</p> </div> <p>たて足配線などでコンセントの定格を超えると発熱による火災の原因になります。</p> <p>ぬれた手で電源プラグや器具用プラグを抜き差ししない。</p> <div style="text-align: center;"> <p>ぬれ手禁止</p> </div> <p>感電の原因になります。</p>
<p>分解や修理、改造をしない。</p> <div style="text-align: center;"> <p>分解禁止</p> </div> <p>火災や感電、けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。</p>	<p>衣類や座ぶとん等をこたつに入れたり、洗濯物を乾燥させたりしない。</p> <div style="text-align: center;"> <p>禁止</p> </div> <p>火災の原因になります。</p>
<p>ヒーターユニットの中に異物（紙や布、金属類など）を入れない。</p> <div style="text-align: center;"> <p>禁止</p> </div> <p>火災や感電、やけど、故障の原因になります。</p>	<p>傷んだ電源プラグや電源コードの部品は、絶対に交換、分解、修理、改造をしない。</p> <div style="text-align: center;"> <p>禁止</p> </div> <p>火災や感電の原因になります。電源プラグや電源コードが破損したときは直ちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。</p>
<p>電源コードを束ねたまま通電しない。</p> <div style="text-align: center;"> <p>禁止</p> </div> <p>火災や感電の原因になります。</p>	<p>電源プラグや器具用プラグの抜き差しはプラグを持っておこなう。</p> <div style="text-align: center;"> <p>強制</p> </div> <p>電源コードを持って抜き差しすると、断線やショートを引き起こし、火災や感電の原因になります。</p>

安全上のご注意 (必ずお守りください)

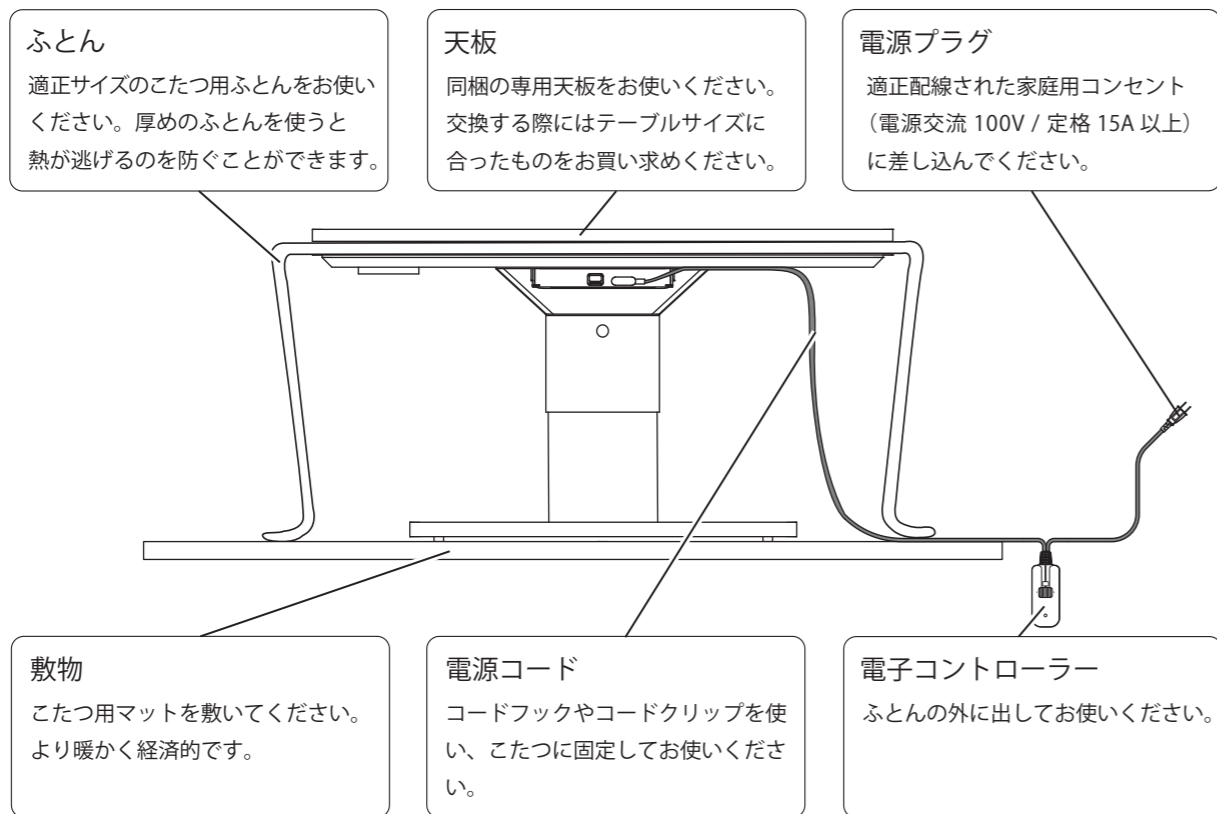
 警告	
<p>使用しないときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。</p>  <p>電源プラグを抜く</p> <p>コンセントに接続したままにすると、火災や感電、けがの原因になります。</p>	<p>電源プラグは定期的に掃除する。</p>  <p>強制</p> <p>電源プラグにほこりや湿気が付着すると、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</p>
<p>電子コントローラーに水などを掛けない。</p>  <p>水ぬれ禁止</p> <p>火災や感電、漏電の原因になります。水がかかったときは、直ちに使うのを止めて、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>	<p>電子コントローラーはこたつふとんの外に出して使用する。</p>  <p>強制</p> <p>こたつ出入りの際に引っ掛けるなどして、断線やショートを引き起こし、火災や感電、故障の原因になります。</p>
<p>ライターやスプレー缶等をこたつの中に置かない。</p>  <p>禁止</p> <p>爆発や火災の原因になります。</p>	<p>使用中や使用直後のヒーターユニットに触れない。</p>  <p>禁止</p> <p>やけどの原因になります。</p>
<p>器具用プラグに異物を入れない。</p>  <p>禁止</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>	<p>電源コードはヒーターユニット付属のもの、または専用の交換品を使用する。</p>  <p>強制</p> <p>他社製や専用以外の電源コードを使用すると、誤作動を起こし、火災や故障の原因になります。</p>
<p>ヒーターユニットを上向きで使用しない。</p>  <p>禁止</p> <p>火災の原因になります。</p>	<p>電源コードを固定して使用する。</p>  <p>強制</p> <p>電源コードを固定せずに使用すると、断線やショートを引き起こし、火災や感電、故障の原因になります。</p>

知っておいていただきたいこと

- ヒーターユニットについて
 - ・初めてご使用になるときは塗料の臭いや煙が出ることがあります。ご使用とともに次第に消えます。
 - ・器具用プラグが熱く感じられることがあります。これはヒーターユニットからの熱によるもので、異常ではありません。
- ヒーター（発熱体）について
 - ・ご使用中にヒーターの明るさが変わります。これは温度制御によるもので異常ではありません。
 - ・ヒーターに付着したほこりなどが焼けて、臭いが出ることがあります。
- ファン・モーターについて
 - ・ご使用中に微弱な回転音や振動があります。これは内蔵されたファンやモーターによるもので異常ではありません。
 - ・モーターの磁気の影響を受け、テレビやパソコン、携帯電話等の画面に歪みを生じることがあります。このような場合は、こたつから 50cm 以上離してご使用ください。
- ヒーターカバーについて
 - ・経年劣化等により、ヒーターカバーが変色することがあります。
- 電子コントローラーについて
 - ・60Hz 地域は目盛り「弱」ではヒーターが明るくならない場合があります。
 - ・50Hz 地域は目盛り「弱」でも熱い場合があります。その場合は「●●」の間でお使いください。
 - ・電子コントローラーが多少熱くなることがあります。これは内蔵された基板の発熱によるもので異常ではありません。
- 天板の結露（水滴）について
 - ・お部屋の湿度が高いときやふとんが湿っているときなど、天板に水滴がつくことがあります。水滴は乾いたタオルで拭きとってください。
 - ・水滴の量が多いときは、天板とふとんの間に乾いたタオルを敷いてください。水滴の量を抑えることが出来ます。
 - ・時々ふとんを干すようにすると、より結露を防ぐことが出来ます。
- お客様による修理について
 - ・個人へ修理部品の供給はおこなっていません。
 - ・お客様によるヒーターユニットや電源コードの分解や修理の痕が見られる場合は、保証対象外となる場合があります。
- 経年劣化について
 - ・長期間使用したこたつは、火災などの事故につながる恐れがあります。安心してお使いいただくため、定期的な点検をおすすめします。点検に関するご相談はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 異音について
 - ・ご使用中に電源プラグやヒーターユニットから「ジー」という微弱な音がすることがあります。これは温度制御によるもので異常ではありません。

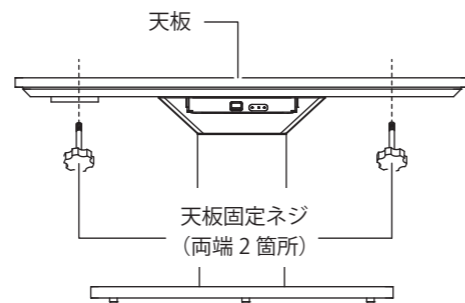
愛情点検	長年ご使用のヒーターの点検を！				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">こんな症状ありませんか</td> <td style="text-align: center;">ご使用の中止</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグや電源コード、本体が異常に熱くなる。 ・「弱」でも異常に熱くなる。 ・本体から煙や異常なおいが出る。 ・異常な音がする。 ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 </td> <td> <p>事故防止のため、直ちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。</p> <p>傷んだプラグやコードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。</p> </td> </tr> </table>	こんな症状ありませんか	ご使用の中止	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグや電源コード、本体が異常に熱くなる。 ・「弱」でも異常に熱くなる。 ・本体から煙や異常なおいが出る。 ・異常な音がする。 ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 	<p>事故防止のため、直ちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。</p> <p>傷んだプラグやコードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。</p>
こんな症状ありませんか	ご使用の中止				
<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグや電源コード、本体が異常に熱くなる。 ・「弱」でも異常に熱くなる。 ・本体から煙や異常なおいが出る。 ・異常な音がする。 ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 	<p>事故防止のため、直ちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。</p> <p>傷んだプラグやコードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。</p>				

こたつの使い方



テーブルとしての使い方

- 電源プラグ・器具用プラグを抜く。
 - 電源を「切」にしてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 器具用プラグをヒーターユニットから抜いてください。
- 電源コードを外す。
 - コードフックやヒートンからコードを取り外してください。
- 電源コードを収納する。
 - 電源コードをコード収納箱に入れ収納してください。
- こたつふとんを外し、天板をのせる。
 - 同梱の専用天板をご使用ください。
- 天板を固定する。
 - 専用天板のネジ穴と天板固定ネジを合わせ2箇所とも回らなくなるまで締め付けてください。



注意

- 天板が動かなくなるまで、天板固定ネジを締め付けてください。完全に固定されていないと、天板がずれるなどしてけがをする恐れがあります。
- ヒーターの取付部やこたつの脚部に緩みやガタツキがないか定期的に点検してください。
- コード収納箱には電源コード以外のものを入れないでください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

警告

ふとんをこたつの中に押し込んだり、片開きで使用したり、座いすをこたつの中に入れてたりしたまま使用しない。ふとんがヒーターに接触し火災の原因となります。

禁止 ふとんをこたつの中に押し込んで使用しない。

禁止 ふとんを片開きにして使用しない。

禁止 座いすをこたつの中に入れて使用しない。

脚を外したり、逆さにしたり、立てたりして使用しない。火災の原因になります。

禁止 片脚で使用しない。

禁止 立てて使用しない。

禁止 逆さにして使用しない。

脚を外して使用しない。

ペットをこたつに入れない。

禁止 ペットをこたつに入れない。

本体や電源コードを傷つけ、火災や感電、故障の原因になります。ペットの健康に悪影響を与える可能性があります。

電源プラグや電源コードを交換したり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしない。

禁止 電源プラグや電源コードを交換したり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしない。

火災や感電の原因になります。傷んだプラグやコードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。プラグやコードが破損したときは直ちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。

ヒーターユニットを床に直接置かない。

禁止 ヒーターユニットを床に直接置かない。

ヒーターユニットは卓用こたつ専用です。床に置いて足温器として使用したり、掘こたつの中に設置したりしないでください。火災の原因になります。

本体を横に揺らしたり、激しく動かさないでください。

禁止 本体を横に揺らしたり、激しく動かさないでください。

本体や脚の破損、ボルトが欠落し、火災や感電、やけど、故障の原因になります。

天板の上に座ったり、踏み台にするなどのご使用や、乱暴な取扱いは避けてください。

禁止 天板の上に座ったり、踏み台にするなどのご使用や、乱暴な取扱いは避けてください。

けがや故障の原因になります。

天板に重量のある物をのせたり、過度な荷重や衝撃を与えないでください。

禁止 天板に重量のある物をのせたり、過度な荷重や衝撃を与えないでください。

本体が破損し火災や感電、やけど、故障の原因になります。

こたつの脚や椅子の脚などで電源コードを踏まない。

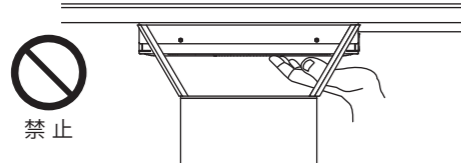
禁止 こたつの脚や椅子の脚などで電源コードを踏まない。

電源コードを傷つけ、火災や感電、故障の原因になります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

警告

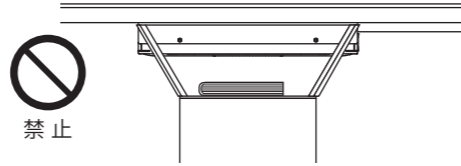
ヒーターユニットとフレームの間に手を入れない。



禁止

やけどやけがの原因になります。

ヒーターユニットとフレームの間に洗濯物や雑誌など燃えやすい物を置かない。



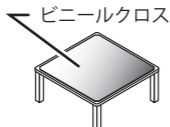
禁止

火災の原因になります。

注意

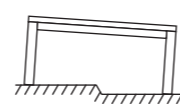
・ビニールクロス等をテーブルに密着させて使用しない。

ビニールクロスが貼りつき、天板の塗装が傷んだり、変色したりする恐れがあります。



・テーブルを傾きのある場所に置かない。

傾きのある場所に置くと、けがや故障の原因となる恐れがあります。



・テーブルに熱いものを直接置かない。
加熱したやかんやなべ、熱い急須やコップ、加熱調理器具などを置くと、天板の塗装が傷んだり、変色したりする恐れがあります。



・テーブルをざらついたものでこすらない。
茶わんや皿など底面がざらついたものでこすると、天板に傷がつく恐れがあります。



・天板が濡れたまま、長時間放置しない。

濡れたままの布巾、濡れたカップ等を置いたままにしますと、天板が変色、変形する恐れがありますので、ご注意ください。
天板が濡れた場合は、乾いた布巾等で速やかに拭き取ってください。



・こたつに強い振動や衝撃を与えない。
ヒーターが断線する恐れがあります。また製品の寿命が短くなる恐れがあります。

・他の暖房器具と併用しない。
ヒーターや併用した暖房器具が故障したり誤動作したりする恐れがあります。

・携帯型機器をこたつに入れない。
電池が異常発熱し、やけどの原因となる恐れがあります。

・使用中にヒーターを見つめない。
目に悪影響を与える恐れがあります。

・天板とふとんがない状態で使用しない。
温度制御に異常をきたし、やけどの原因となる恐れがあります。

・こたつを引きずりながら移動しない。
床面が傷つく恐れがあります。

・お手入れにシンナー、ベンジン、漂白剤、アルコールなどを使わない。
天板や脚が変形や変色する恐れがあります。

・他の暖房器具から熱を取り入れるダクトを使用する場合には注意すること。
温度制御が正常に働かなくなることがあります。
こたつ本体に直接熱風があたると、塗装が傷んだり変色や変形したりする恐れがあります。

・こたつを熱に弱い床材や敷物の上で使用する場合は、断熱をする。
断熱をしないと、ヒーターからの熱によって下記の敷物や床面などは変形・変色・割れ・すき間が生じる恐れがあります。こたつ用マットを敷き、熱が直接当たらないようにしてください。

※ 熱に弱い敷物

※ 熱に弱い床材

コルクマット、ピータイル、寄せ木、天然木の床、白木床、プラスチックシート (ポリプロピレンや塩化ビニールなど) 貼りの床など

※ 新しい畳の上

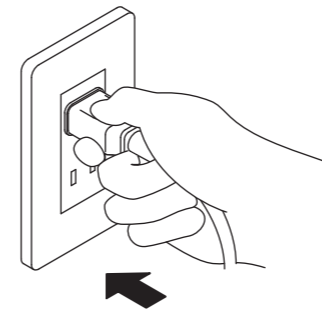
青畳が直射日光で変色する現象が、こたつの光でも起こります

・ふとんの材質に注意する。
ご使用状況とふとんの材質によっては、ヒーターからの熱で変色することがあります。

ご使用の順序

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

- ・電子コントローラーの目盛りが「切」であることを確認してから、電源プラグを差し込んでください。
- ・家庭用コンセントをご使用ください。



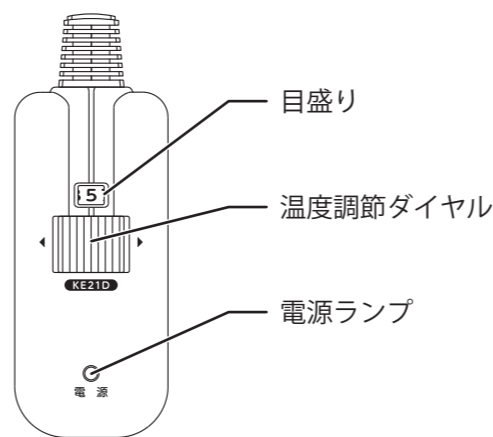
交流 100V
15A 以上

2. 電源を入れる

- ・温度調節ダイヤルで電源の入り切りを行います。
- ・目盛りが「切」以外の位置では電源が入った状態になり、電源ランプが点灯します。

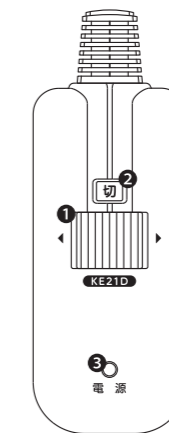
3. お好みの温度に合わせる。

- ・温度調節は温度調節ダイヤルを使います。
- ・温度調節は目盛りの「弱」から「強」まで、無段階で可能です。

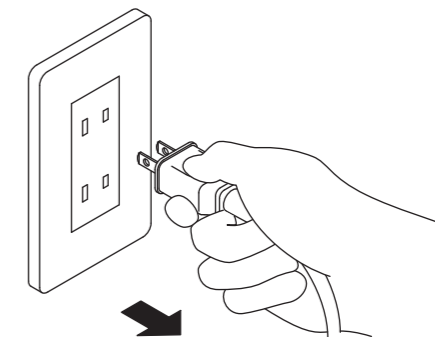


4. ご使用後や外出されるとき

- ・温度調節ダイヤルを「カチッ」という音がするまで右に回してください。
- ・目盛りが「切」の位置に戻り、電源ランプが消えたことを確認してください。
- ・コンセントから電源プラグを抜いてください。



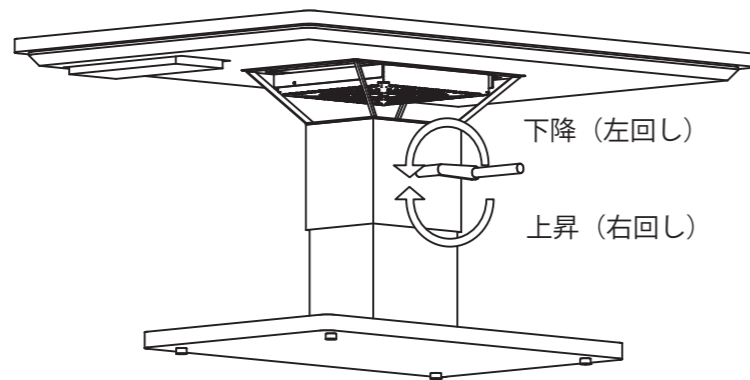
- ① 温度調節ダイヤルを右いっぱいまで回す。
- ② 目盛りが「切」になったことを確認する。
- ③ 電源ランプが「消えた」ことを確認する。



ご使用の準備

5. テーブル高さを調節する。

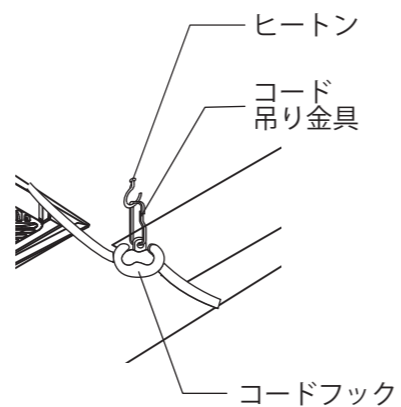
- ・支柱にある高さ調節用ハンドル差し込み口にハンドルを差し込んでください。
ハンドルは電源コードを差し込む側と反対側から差し込んでください。
- ・ハンドルを右に回すと中天板の高さが上昇し、左に回すと下降します。
適切な高さに調節してください。
- ・高さを調整が終わったら、ハンドルをコード収納箱に収納し大切に保管してください。



※電源コードを差し込む側からハンドルを使用した場合は回転方向が逆になります。

6. コードを固定する。

- ・コードフックをヒートンに掛けてください。
- ・コードクリップがある場合はコードクリップにも掛けてください。
- ・コードを適切な長さに調整してください。



⚠ 注意
コードフックををコード吊り金具に掛けてご使用ください。
こたつへ出入りする際にコードを脚で引っ掛け、けがや故障の原因となる恐れがあります。

7. ふとんを掛け、天板を置く。

- ・こたつふとんはテーブルサイズに合ったものをお買い求めください。
- ・天板は同梱されているものをご使用ください。
- ・電子コントローラーはふとんの外に出してください。

各部のなまえ

ヒーターユニット

電源コード

テーブル

付属品

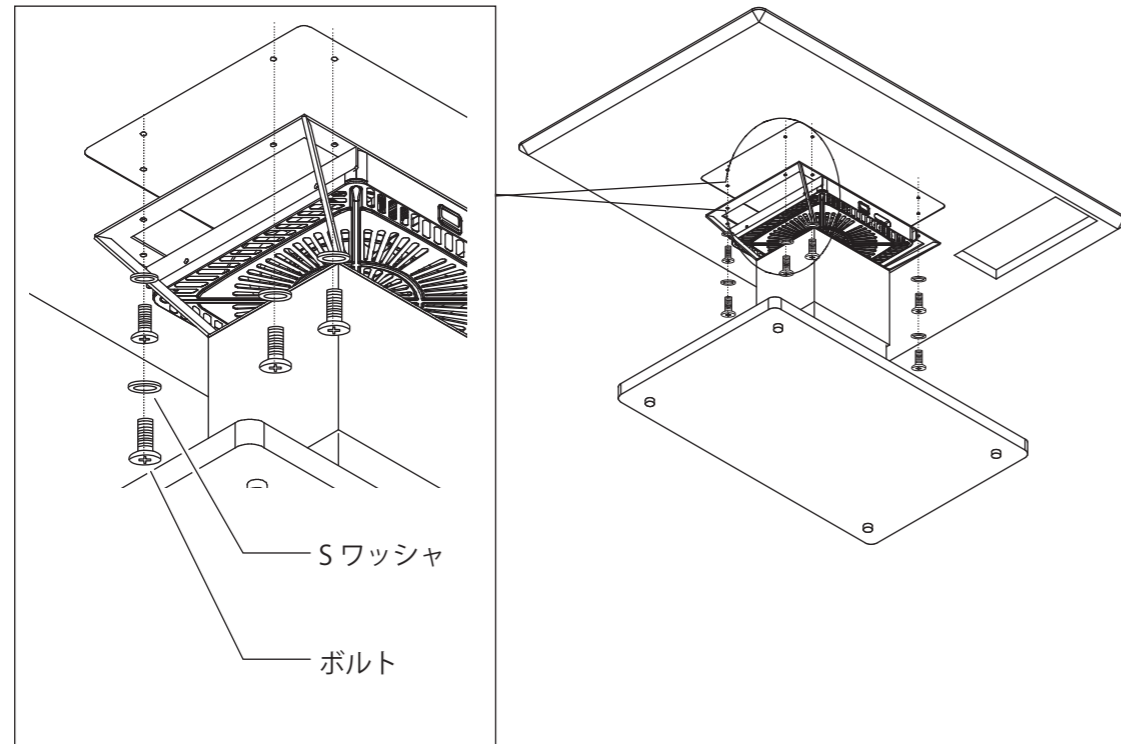
ボルト 9本 (予備1本)	Sワッシャ 9個 (予備1個)	ハンドル 1本	コード収納箱 1箱

※イラストと実際の商品が多少異なることがあります。

ご使用の準備

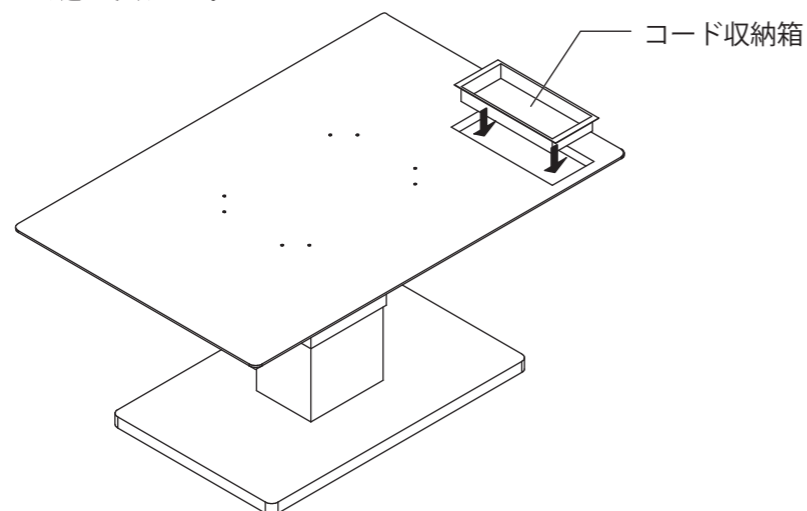
1. 中天板と下台の取り付け。

- ・電源コードの差し込み口がコード収納箱側になるよう中天板の下台取り付け穴に、下台を合わせてください。
 - ・ボルトにSワッシャを通して、ボルトを仮止めしてください。
 - ・ボルトが回らなくなるまでドライバーで締め付けてください。
- ドライバーは付属されていません。ご家庭にあるドライバーをご使用ください。



2. コード収納箱をセットする。

- ・中天板にコード収納箱をはめ込んでください。

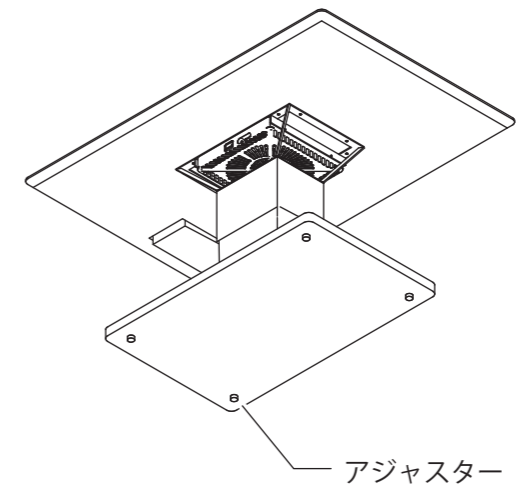


7

ご使用の準備

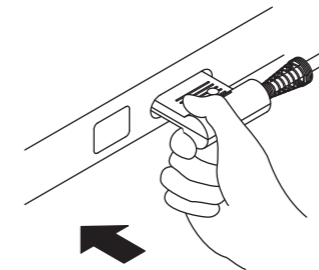
3. アジャスターを調節する。

- ・テーブルが安定するよう、下台底のアジャスターを手で回し調節してください。



4. 器具用プラグをヒーターユニットに差し込む。

- ・電源プラグが差されていないことを確認してから、器具用プラグを差し込んでください。
- ・イラストと同じ向きに奥まで完全に差し込んでください。



⚠ 注意

ヒーターやこたつ脚に緩みやガタツキがないか、定期的に点検してください。緩んだりガタついたりしたまま使用すると、けがや故障の原因となる恐れがあります。

8